

厚真の和牛が全道一に輝く

十勝管内音更町で行われた北海道総合家畜共進会で

九月十日、十勝管内音更町の十勝農協連家畜共進会場で「第十四回北海道総合家畜共進会」が行われ、池川勝利さん（宇隆）出陳「ゆき」、米田俊之さん（鹿沼）出陳「はるしげこ」、高山昇さん（上厚真）出陳「はなかつ」が牛三頭群第九部で一等になるとともに、全部門のなかの頂点である肉用牛部門最高位賞に輝きました。

本町の五戸の農家から手塩にかけて育てた十頭が出陳。最高位賞受賞をはじめ、いずれの牛も好成绩を収め、激励にかけつけた河村町議会議員長や畑嶋助役、関係者たちは喜びに包まれていました。

佐々木弘町農業振興課長は「この度の栄誉あるグラントチャンピオン受賞は、長年にわたり肉用牛の改良に努力された厚真町和牛改良組合の皆さんの成果でもある」と話していました。



表彰式(上)と左2番目から高山さん、池川さん、米田さんと牛たち

わふ 陶器と和布のコラボ 森の中の二人展

9月23、24の両日、ルーラル地区に住んでいる陶芸家の中山育子さんのお宅で、ホームギャラリー「森の中の二人展」が行われました。

和布の小物づくりを制作する安平町の多田律子さんとの二人展は、今年で2回目。二人の共通の友人である高橋真理子さん（本郷）の紹介で5年前に出会い、自然発生的にホームギャラリーを開いてみようということになったと言います。両日、新聞などで開催を知った人たちが町内外から多数訪れて、二人の作品を鑑賞していました。



中山さん(右)と多田さん

町長から記念品を受け取る桐木きよさん



いつまでも元気な 厚真の父・母でいてください

平成18年度の厚真町敬老会が9月9日、総合福祉センターで行われ、約180人が元気出席し、町長、議長、関係者などから長寿の祝福を受けました。

今年度の対象者は、100歳以上の方が5人、90歳以上の方が80人、米寿の方が18人、一般敬老の方405人の計508人。

藤原町長から参列した方々に「皆さんは厚真の父であり母です。今まで郷土を築いてこられた苦勞と努力に、敬意を表するとともに深く感謝したい」と言葉をかけられました。

まちの話題

安全第一に六十年、三國電機商会に表彰状

このほど札幌市内で開かれた第25回北海道電気安全大会で、平成18年度電気保安功労の表彰が行われ、本町の㈱三國電機商会（三國隆志社長）が経済産業省から表彰されました。

同社は昭和22年創業し、60年にわたり電気保安の確保に努めたことが評価されたもので、同社のほかに道内では6企業と4個人が表彰されました。

三國社長は「思わぬ表彰に驚いています。今後も安全第一で頑張っていきたい」と表彰の喜びと今後の抱負を話していました。



9月12、13の両日、スタードームで胆振教育局長杯第21回胆振親善交流ゲートボール大会が行われました。

小山内国雄副大会長は「全天候型の施設があるので、厚真での開催は今回で4回目。ようこそ厚真へ」とあいさつ。

胆振管内8市町から予選を勝ち抜いた強豪20チーム150人が厚真に集まり、胆振最強チームを目指して熱戦を繰り広げました。



ぎょうざ 皮から作る餃子は すごくおいしい！



餃子をつくる山田さん(右)と参加者

町国際交流協会（館山審会長）が主催し九月二十八日、総合ケアセンターゆくり調理実習室で中国家庭料理の講習会が行われました。

世界に手をつなぐ異文化交流を目的に行われたもので、中国天津市出身で四年前から上厚真地区に住んでいる山田恵子さんが講師を務めました。

つくった料理は水餃子、チンジャオロースーなど四品で、餃子は、小麦粉を材料に皮から作る本格的なもので、参加した二十人の主婦などは、山田さんの見事な手さばきに関心しながら、自分たちも本格的な中国料理に取り組み、出来上がった料理に舌鼓を打っていました。



秋の気配漂う中で 上厚真小タベのコンサート

九月八日、上厚真小学校（横山守校長）で「タベのコンサート」が行われました。

同校PTA（長門茂明会長）が主催するこの催しは今年で九回目となり、地域恒例の行事として定着。児童の歌や器楽演奏、久保巖さん（上厚真）のハーモニカ演奏、町民吹奏楽団や先生で組むバンドの演奏など盛りだくさんの演目に、来場した人たちは初秋のひとときを楽しんでいました。



あった 心が温かに スマイル4ビート演奏会

軽舞小学校（鳥井隆校長）で、同校PTA（河村敏弘会長）が主催し九月二十日、「スマイル4Beatコンサート」が行われました。

安平町の福祉施設に入居し、全道各地で演奏活動しているバンド、スマイル4ビートの四人を招き、秋の歌メドレーや軽舞小児童全員との合奏などを披露。訪れたたくさんの方々の地域の方々などが、心温まる演奏に耳を傾けていました。